

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1		7	適切な基準を満たしています。その日の利用人数や児童の年齢等によってレイアウトを変更したり、学習スペースと活動スペースに分けて環境作りをおこなっております。	本棚やツールの収納場所を整理して広く活用できるようにしております。	
	2		7	法令の基準を満たした人員に、加配の職員も配置しております。	法令よりも多くの人員配置を組んでおります。今後も児童の受け入れに合わせ随時調整してまいります。	
	3		5	2	児童の個々の特性に応じた最善の環境作りを行い、支障の発生も低く、上がりやすい工夫をしております。	今後も児童が安全に過ごすことができる空間を確保してまいります。
	4		6	1	毎日の清掃、室内の消毒を徹底し常に清潔な空間を提供できるように心がけています。また、机や教材の消毒をこまめにおこない、部屋は常時換気をおこなっております。	今後も感染予防対策は継続し、児童一人ひとりが活動に集中しやすい環境作りを努めてまいります。
	5		7		児童の特性や状況に合わせて、個室を利用しております。	児童の健康面に配慮し、その日の気持ちに寄り添いながら、よりよい空間での療育をおこなってまいります。
業務改善	6		7		毎月フレクシオン会議をおこない、普段の業務内容や療育活動を見直し、反省、今後の目標等を設定・周知をおこなっております。	今後も、情報や目標の進捗状況の事業所内周知を徹底してまいります。
	7		7		保護者様向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施し保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげています。	保護者様からのご意見、ご意向を事業所内で共有していくことにより、業務改善へとつなげてまいります。
	8		7		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。
	9		2	5	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については、今後の課題として検討してまいります。
	10		6	1	本社作成の動画配信等を活用し、事業所内で研修をおこなっております。	本社で企画された研修動画を活用し、資質の向上に努めてまいります。また、職員の希望を取り、資質向上に必要と思われる外部研修への参加を検討してまいります。
適切な支援の提供	11		7		令和7年度に向け作成しております。	令和7年度に向け作成しております。
	12		7		アセスメントを適切におこない、情報更新が必要な場合は保護者様のご意向を踏まえて、課題を明確にしたうえで計画を立案しております。	今後も定期的にあセスメントをおこない、児童の特性に配慮し保護者様のご意向を含めた支援計画を心がけてまいります。
	13		7		日々の情報共有や計画前の支援会議を通して、目標に対するエピソードや達成度を確認し、モニタリングの必要も併せて児童の今後の計画の検討を実施しております。	家族支援の直後の情報共有や周知徹底の方法は、手順の確立を目指してまいります。
	14		7		記録の書き方を工夫しており、計画を読まない記録が書きにくい仕組みにしております。また別途職員がおこなったことや気づいたことを記録するように工夫しております。	定期的な効果の検証、および偏りに対する対策を目指します。
	15		7		法人で統一されたアセスメントシートを使用し、児童の状況を把握し、同時に保護者様のご意向も反映しております。	今後も統一されたアセスメントツールを使用し、児童の情報収集を正確におこない、状況の把握に努めてまいります。
	16		7		児童一人ひとりの状況やニーズ、保護者様のご意向に応じて、ガイドラインから提供すべき項目を選択し必要な支援計画を具体的に作成しております。	今後もガイドラインに沿った支援内容、個別支援計画を作成してまいります。また、担当者会議などで見直しが必要とされた場合は、必要項目を選択し、適切で具体的な支援内容になるよう努めてまいります。
	17		7		活動プログラムについては、個別支援計画をもとに職員間で協議しながら立案しております。	今後も活動プログラムは全職員で話し合い、チームで立案をし計画を立てて支援してまいります。
	18		7		定着を促して、プログラムを休んで固定化する場もありますが、長期休みにあってもできるだけ多くのプログラムを計画しております。	今後も新たな活動を取り入れていけるよう、職員間での会議をおこない検討してまいります。
	19		7		個別支援計画に沿って児童一人ひとりに合った内容で個別及び集団活動を組み合わせ、児童発達支援計画を作成しております。	今後も児童のニーズに沿った個別及び集団の活動を組み合わせ個別支援計画を立案し、個々の発達に沿った活動を実施してまいります。
	20		4	3	職員間で話し合い、その日の送迎や支援内容の打ち合わせなど注意事項があれば必ず全職員へ周知しております。	今後も欠かさず打ち合わせをおこない、情報共有と認識の一致に努めてまいります。
	21		3	4	その日の振り返りをおこない、伝達事項・療育については管理者・児発管に必ず報告をおこない、全員で周知をするようにしております。	今後もその日のうちに管理者または児発管へ必ず報告し全職員で周知するようにしてまいります。
	22		7		毎日児童の様子を記録しております。記録をもとに支援の改善に努めたり、職員間での情報交換をおこなっております。	今後も同様に日々の記録をおこない、支援の検証・改善につなげてまいります。
	23		7		定期的に個別支援会議をおこないモニタリングを実施し、保護者様のご要望と児童の現状把握を行い個別支援計画の見直しをおこなっております。	今後も定期的に児童の現状把握をおこない、保護者様のご要望に沿った支援内容の見直しをしてまいります。
	24		6	1	児童発達支援管理責任者が基本的に参加しております。普段から支援に関わっている職員からも情報を集めて参画しております。	保護者様・相談支援事業所、ならびに併用されている事業所等の関係機関との連携は重要ですので、今後も児童発達管理責任者が参加することにより情報の共有ができるよう努めてまいります。
	関係機関や保護者様との連携	25		4	3	現在医療的ケアを必要とする児童はおりませんが、協力的医療体制は整えております。また必要に応じて保護者様のご意向を伺ったうえで、保育・教育当の関係機関との情報共有や事業所見学の受け入れ等をおこなっております。
26			6	1	必要に応じ、幼稚園・保育園の関係機関の先生とは送迎時等に情報共有をおこない、共通理解を図っております。	今後も、関係機関と連携して支援内容などの情報共有と相互理解を図ってまいります。
27			7		小学校などへの進学時には保護者様のご意向を確認した上で支援会議をおこない、進学先と情報共有に努め相互理解を図っております。	児童発達支援から放課後等デイサービス利用に移行される方の情報は、いっそう密に共有する必要のあるため、相談支援専門員とも連絡を取り合いながら情報共有に努めてまいります。
28			7		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っている。	
29			7		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させている。	
30			7		(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等に積極的に参加している。	
31			7		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けている。	社会状況に合わせ、当事業所のニーズに沿って関係機関との連携を図り助言や研修を受講してまいります。
32			7		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の児童と活動する機会がある。	保護者様のご意向をうかがいながら、障がいのない児童との交流機会への検討をおこなってまいります。
33			7		日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達理解の状況や課題について共通理解を持つている。	今後もモニタリングや担当者会議、家族支援での話しを通して情報共有に努めてまいります。
34			4	3	必要に応じてご家庭での療育方法や、事業所内相談を通じて支援に関する助言をおこなっております。	今後も同様に保護者様の対応力の向上を図る観点から、自宅でもできる効果的な療育内容について提案できるよう努めてまいります。
35			7		連絡帳を活用したり、送迎時を利用してご相談を受けたり、助言をおこなっております。また、電話や事業所での対面での相談受付も実施しております。	これからも保護者様に寄り添い、ご相談に対しお悩み解決に努め、職員間で情報共有をし共通理解を図ってまいります。
36			7		日々の家庭連携も含めた保護者様とのやり取りや、支援計画更新前の保護者様との面談のなかで、ご意向の確認をおこなっております。	本来、児童のニーズが尊重されるべきならばないことでもあり、放課後等デイサービスの対象者は家族面談の出席、または別席面談ができることへの提案もしております。今後の検討課題といたします。
37			7		契約時に運営規程、利用者負担等について丁寧な説明に努めております。また、質問やご不明な点がないかなどを確認しながら進めてまいります。	
38			6	1	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者様から児童発達支援計画の同意を得ている。	直接面談が適切な時期にできない時は、電話でおこなうケースもあります。
39			7		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者様同士で交流する機会を設ける等の支援をしています。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている。	保護者様のご意向を伺いながら企画を検討してまいります。
保護者様への説明責任等	40		7		保護者様からの相談や苦情窓口を一本化するべく、誤解や誤認を防止しております。また、管理者・児発管が全職員に周知することで、迅速かつ適切な対応を図ってまいります。	今後も引き続きご相談や申し入れについては、迅速かつ丁寧に対応してまいります。
	41		7		公式 Web サイトのブログで各事業所の様子をお伝えしているほか、季節ごとの節目でCOMPASS 便りや毎月子どもカレンダーを発行して、お知らせ等の情報発信をおこなっております。	今後も公式 Web サイトでの活動報告を継続し、季節ごとに便りや発行いたします。また、毎月発行の子どもカレンダーも継続してまいります。
	42		7		個人情報の取り扱いに十分留意している。	引き続き個人情報取り扱いには細心の注意をはらい厳重に保管してまいります。
	43		7		児童一人ひとりの特性を理解し、保護者様へは専門用語を使わず分かりやすい言葉で伝え、保護者様のご相談に適切な助言ができるよう努めてまいります。	今後も同様に保護者様に適切にそって分かりやすい助言をさせていただきます。保護者様との意思の疎通を図ってまいります。
	44		7		個人情報保護の観点から、地域住民を招待するような行事は行っていません。	児童および保護者様のご意向で、地域の方との交流には配慮する必要があるため現時点ではおこないませんが、保護者様のご意向によっては地域の行事への参加も検討いたします。
	45		7		事業所内に各種マニュアルを提示し、保護者様・職員共に周知するとともに事業所内研修で共通認識を醸成しております。	各種マニュアルは情報更新をおこない整備に努め、保護者様へもご覧いただけるよう案内を継続してまいります。
	46		7		事業所では業務継続計画が策定されております。避難訓練は、火災・風水害・地震・不審者侵入の避難訓練をそれぞれ年1回ずつ実施しております。	児童には、避難する理由や方法を説明し実施してまいります。
	47		7		聞き取りやアセスメントにて保護者様に確認をおこなっております。また利用中の薬物の使用の必要がある場合は、与薬依頼書の提出をお願いしております。	児童の健康に関することから、今後も確実に聞き取りや確認をおこなってまいります。
	48		7		アレルギーについては、初回のアセスメントの際に必ず聞き取りをおこない、全職員に周知しております。	アレルギーに関する情報は今後も同様に確実に保護者様から聞き取りをおこない、職員への周知をしてまいります。
	49		6	1	安全計画を策定し日々の療育を通してPDSAサイクルを研修し、情報の共有・改善をおこない、児童の安全確保に努めております。	今後も通所・利用中の安全確保を徹底しながら、課題が見つかるればその都度改善を図ってまいります。
	50		7		利用契約時に、サービス利用時の安全対策や緊急時の対応方法について説明をおこなっております。	今後も保護者様への周知と共有に努めてまいります。
	51		7		ヒヤリハット報告書にはしっかりと記録を残し、その状況を職員で周知することにより、事故を未然に防ぐことができるよう努めてまいります。	今後も継続してヒヤリハット事例を記録し、事故の再発防止と未然防止に努めてまいります。
	52		7		職員会議等で虐待防止の必要性の共通認識が得られるよう努めております。また、法人内で虐待防止委員会を設置し、必要な研修内容や会議内容を周知徹底しております。	今後も外部研修にも積極的に参加も活用し、虐待防止について職員の認識を深めてまいります。
	53		7		現在身体拘束が約半数の児童のご利用はありませんが、利用契約前に身体拘束の禁止を記載しており、生命または身体を保護するためにやむを得ず身体拘束をおこなう場合は、あらかじめ文章により保護者様の同意を得るようしております。	今後も身体拘束の禁止については、職員間で認識を統一してまいります。保護者様はその説明を利用契約時に確実にしておこなってまいります。また、身体拘束の定義や方針を定める場合の要件を職員に周知してまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体でおこなった自己評価です。